

ちば里山宣言 in 君津

私たちは、「里山・裏山・命山 その恵みと創造—見る、聞く、触れる、味わう、嗅ぐ、そして、作る、遊ぶ、学ぶ—」をテーマに第11回里山シンポジウム in 君津に集いました。

里山と地域にかかわり活動する私たちは

「里山の持つ魅力と人をはぐくむ底力」について語り合い

「里山に託す私たちの未来」を共有し、次のとおり宣言します。

里山は、先人が自然に働きかけ創り上げた

豊かな生活空間です

里山は、水・薪炭・萱・山菜・落ち葉・緑肥・木材など

多様な恵みをもたらす命山です

里山は、季節ごとに姿を変え、心をいやす

美しい景観、心のふるさとです

東京湾越しに富士を望む君津は

山と水に恵まれ、田園が広がる里山の象徴です

かつてトキとコウノトリが飛びかった君津

人と動物、植物が織りなす農・林・漁業を営む伝統の景色です

いま里山の多くが、人の手が遠ざかり

賑わいを忘れ、荒れ、寂しく、沈んでいます

私たちは今、里山の恵みの偉大さにきづき

再び里山に地域の誇りと命の賑わいを求めて行動をはじめました

私たちは、里山に親しみ、里山に抱かれ、里山にいやされ

里山文化に学び、里山に働きかけ、里山を守ります

私たちは、人と自然が一体となった

生物多様性の宝庫・里山の再生と再創造を進めます

そのために、私たち市民と市民グループは

国・県・市町村、企業・学校・公民館・博物館などと共に

広く海外の人々とも結び、知恵を出し合い、協働し

里山を子どもたちそして未来に生きる人たちに引き継ぎます

平成26年5月18日

第11回里山シンポジウム in 君津 参加者一同